



緑化活動・海外植林活動

Green Earth

緑の地球を守る活動を、従業員と一体となって推進しています。

工場・事業所緑化の推進や、東南アジアを中心とした海外での植林活動に取り組んでいます。その特徴は、従業員が寄付やボランティアなどさまざまな形で自発的に参加していること。これからも、従業員と一体となった緑化活動を国内・海外で推進していきます。

緑化活動

緑化をとおして、地域の自然環境の回復に貢献します

初代社長の「自然と共生した工場づくり」の意志を継ぎ、どこにも「緑」があります。工場・事業所の小さな緑地も、地域の自然の一部として多種多様な生き物が生息する大切な世界です。そこで私たちは、「生物多様性緑化」を推進し、自然環境を回復するお手伝いをしています。当社は、植えるだけでなく、地域の自然環境に貢献できる緑化をめざします。



木の廃材を遊歩道に活用(沼津工場)



野鳥のための巣箱(熊谷工場)



自然と共生する工場イメージ

東南アジアでの植林活動

富士通 ベトナム友好の森

1999年度から「富士通 ベトナム友好の森」として、ベトナム・ドンナイ省 ノンチャック地区において植林活動を行っています。2000年度は、8月4日、前年度の残り25ヘクタールにマングロープ25万本を植樹し、あわせて50万本となりました。この活動は、従業員の募金によって実現したもので、植林活動には日本からの富士通従業員ボランティアとFCV*1従業員ボランティアが多数参加しています。また当日には、植林現地でドンナイ省農林局幹部のご出席を得た記念式典が開催されました。富士通では、さらにベトナムでの植林事業の拡大を検討しています。

*1 FCV: 富士通コンピュータ・プロダクツ・オブ・ベトナム

*2 FTC: 富士通タイランド

FTC*2 第二次熱帯林再生植林

FTCは、2000年4月29日に、タイでは初めてとなる従業員の寄付による植林を実施し、8万本を植樹しました。タイでの富士通の植林は、1998年度に続き2度目です。

今回の特徴は、前回の植林が「第二回タイ国王即位50周年記念植樹コンテスト」に日系企業では初めて入賞したのを機に、現地の従業員が自らの手で自国の熱帯林の再生を計画したことです。



植林記念式典